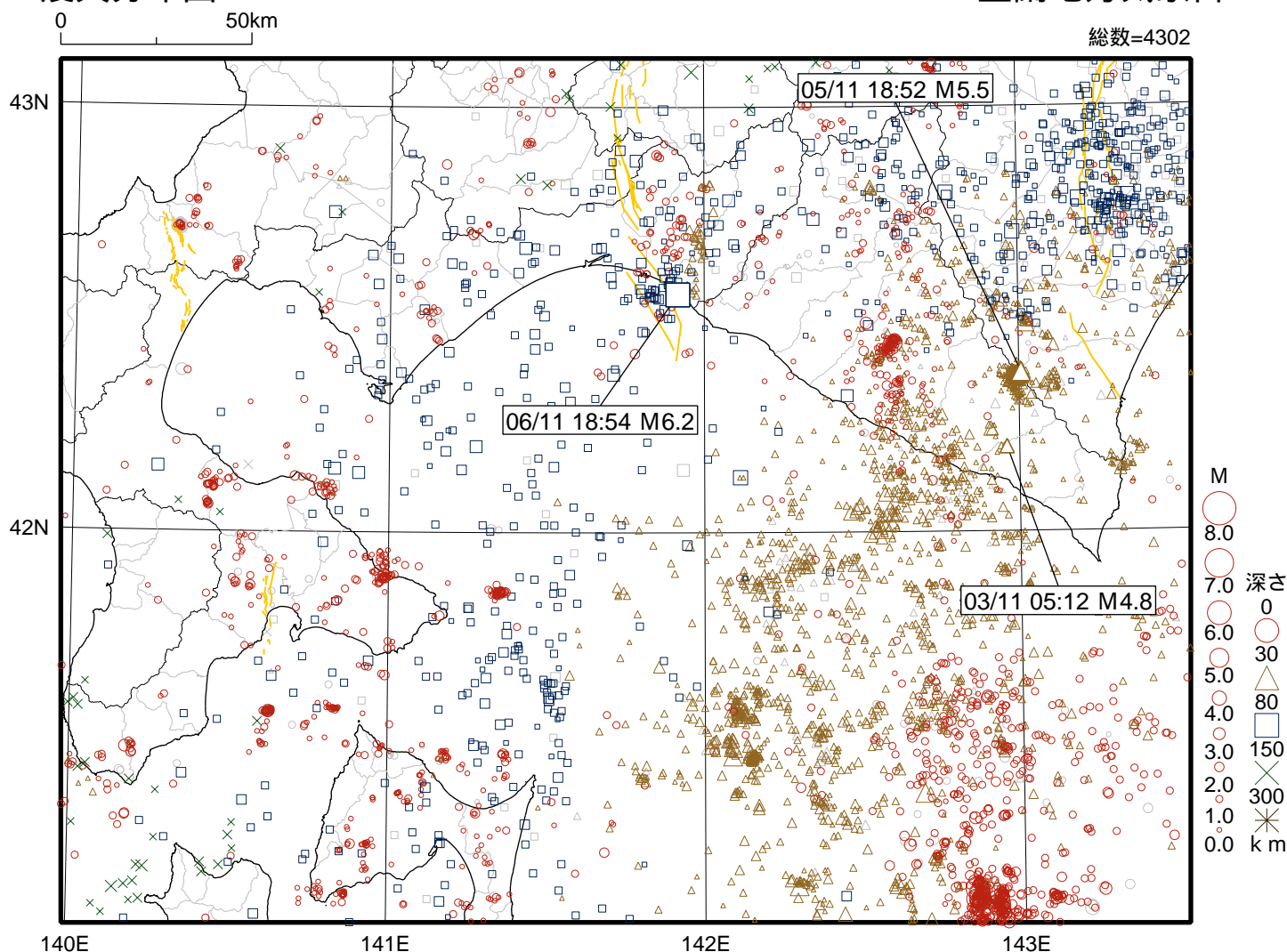


胆振・日高地方の地震活動図

2023年1月1日～2023年12月31日

震央分布図

室蘭地方気象台



地震概況 (2023年1月～12月)

2023年に胆振・日高地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は55回(2022年は55回)でした。

このうち震度4以上を観測した地震は3回(2022年は1回)でした。

年間を通して観測された最大の震度は5弱でした(「2023年胆振・日高地方の最大震度別・月別地震回数表」参照)。

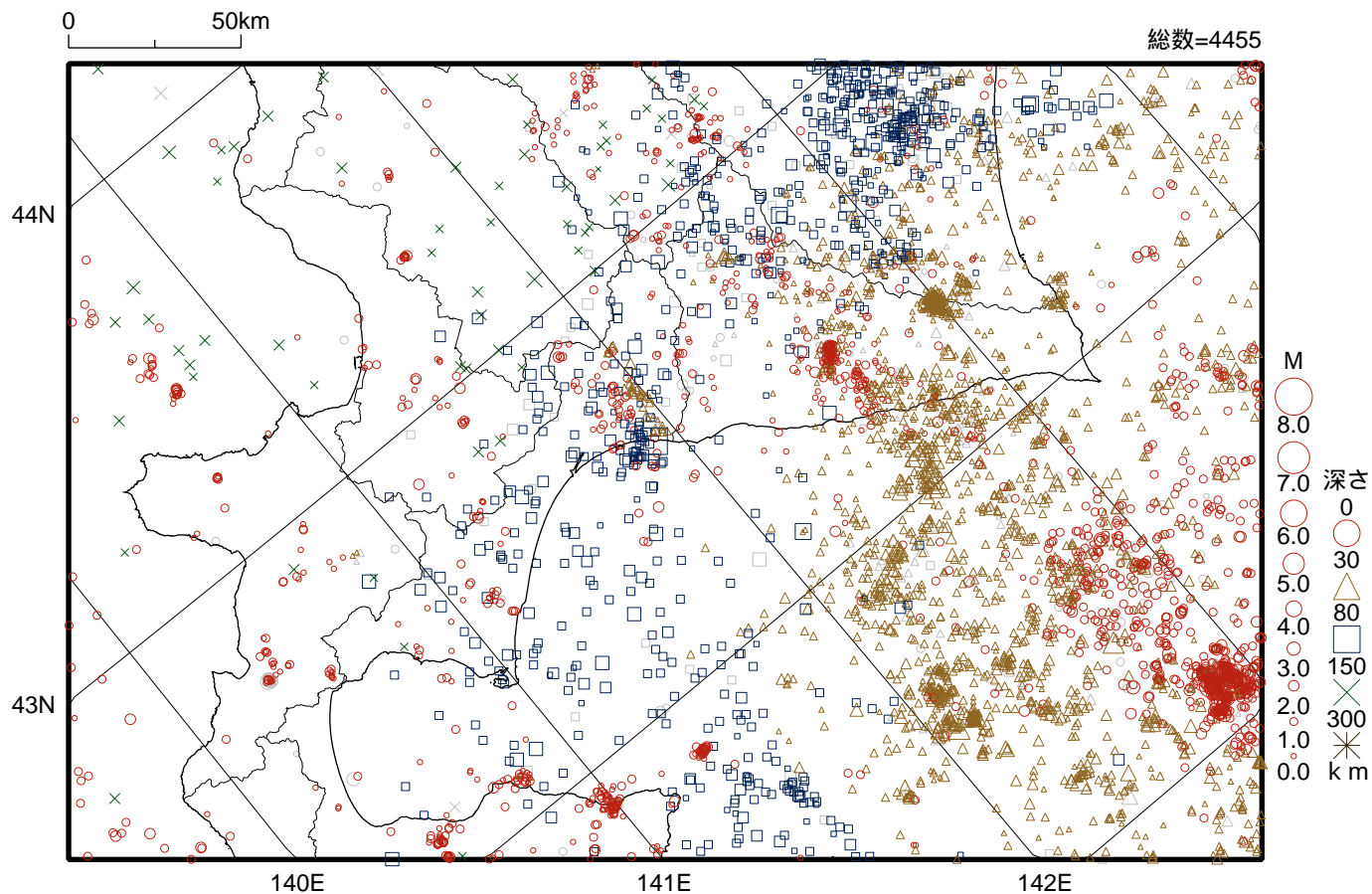
6月11日18時54分、苫小牧沖(M6.2、深さ136km)により、厚真町、浦河町で震度5弱を観測したほか、胆振・日高地方で震度4～2を観測しました。情報発表に用いた震央地名は〔浦河沖〕です。

胆振・日高地方で震度5弱以上が観測されたのは、2019年2月21日胆振地方中東部の地震により、厚真町で震度6弱を観測した以来です。

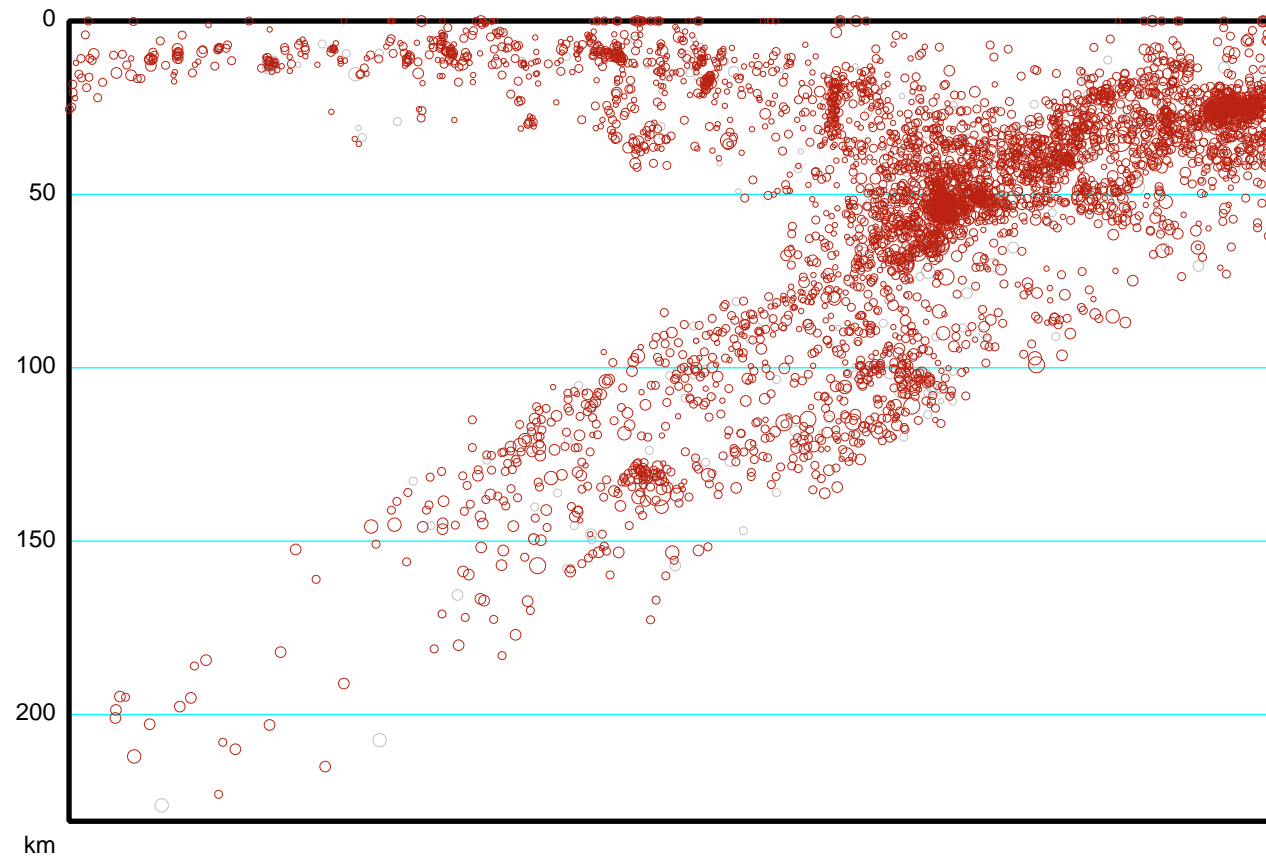
この活動図は、室蘭地方気象台のホームページ(<https://www.data.jma.go.jp/muroran/>)に掲載しています。
この資料に関する問い合わせ先 室蘭地方気象台 TEL 0143-22-4249

2023年1月1日 ~ 2023年12月31日

震央分布図



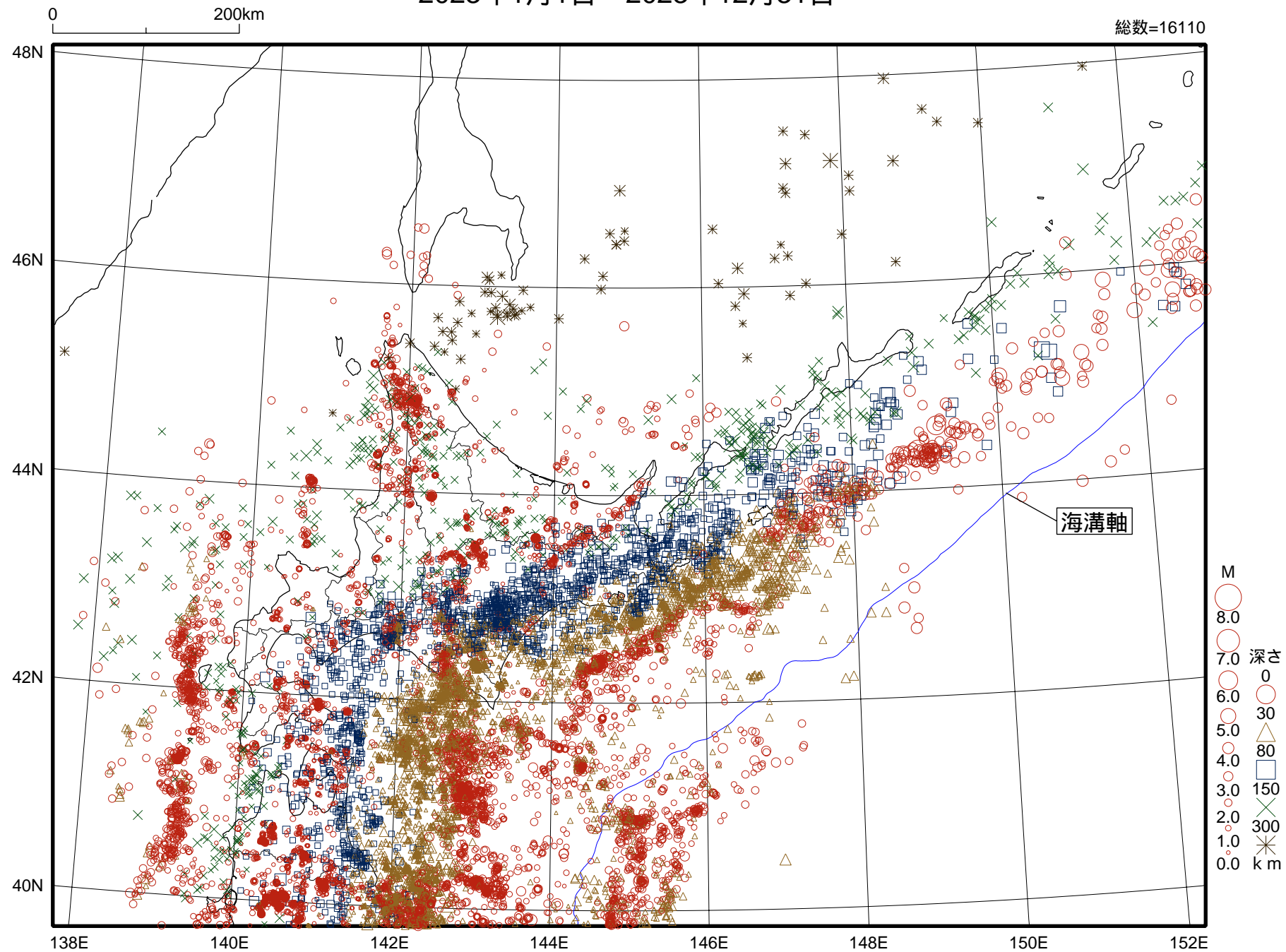
断面図



北海道の地震活動図

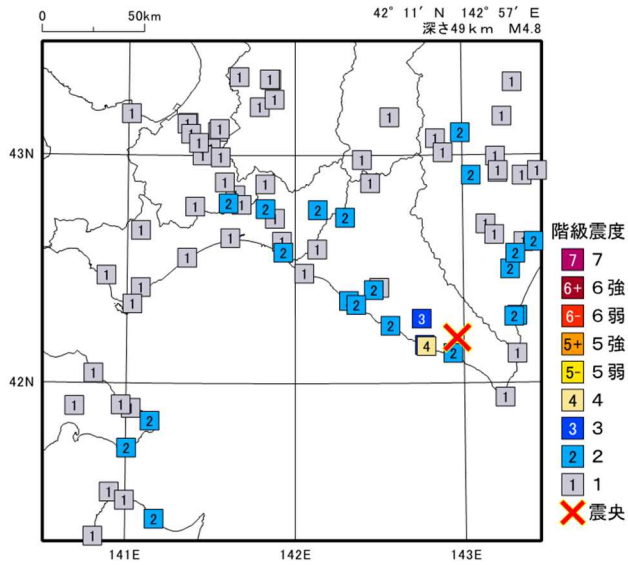
2023年1月1日 ~ 2023年12月31日

震央分布図

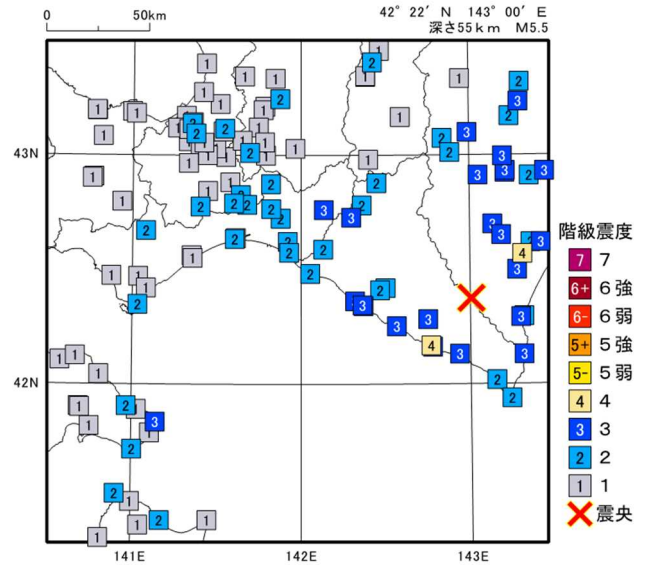


震度分布図（胆振・日高地方で震度4以上を観測した地震）

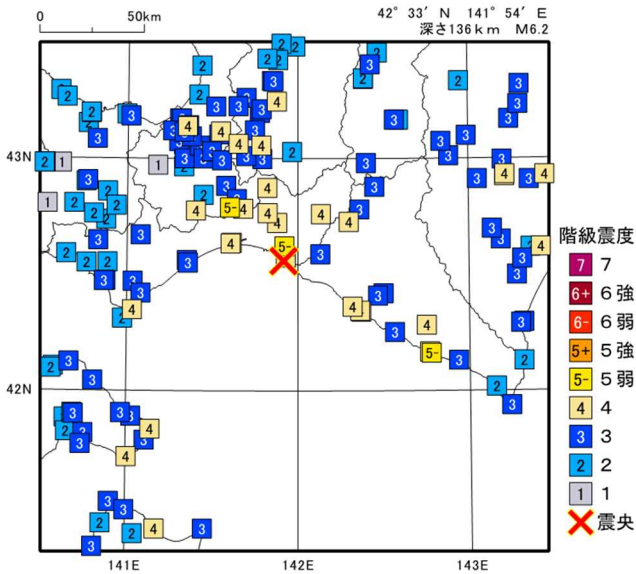
2023年 3月11日05時12分 日高地方東部の地震の震度分布図



2023年 5月11日18時52分 日高地方東部の地震の震度分布図



2023年 6月11日18時54分 苫小牧沖の地震の震度分布図

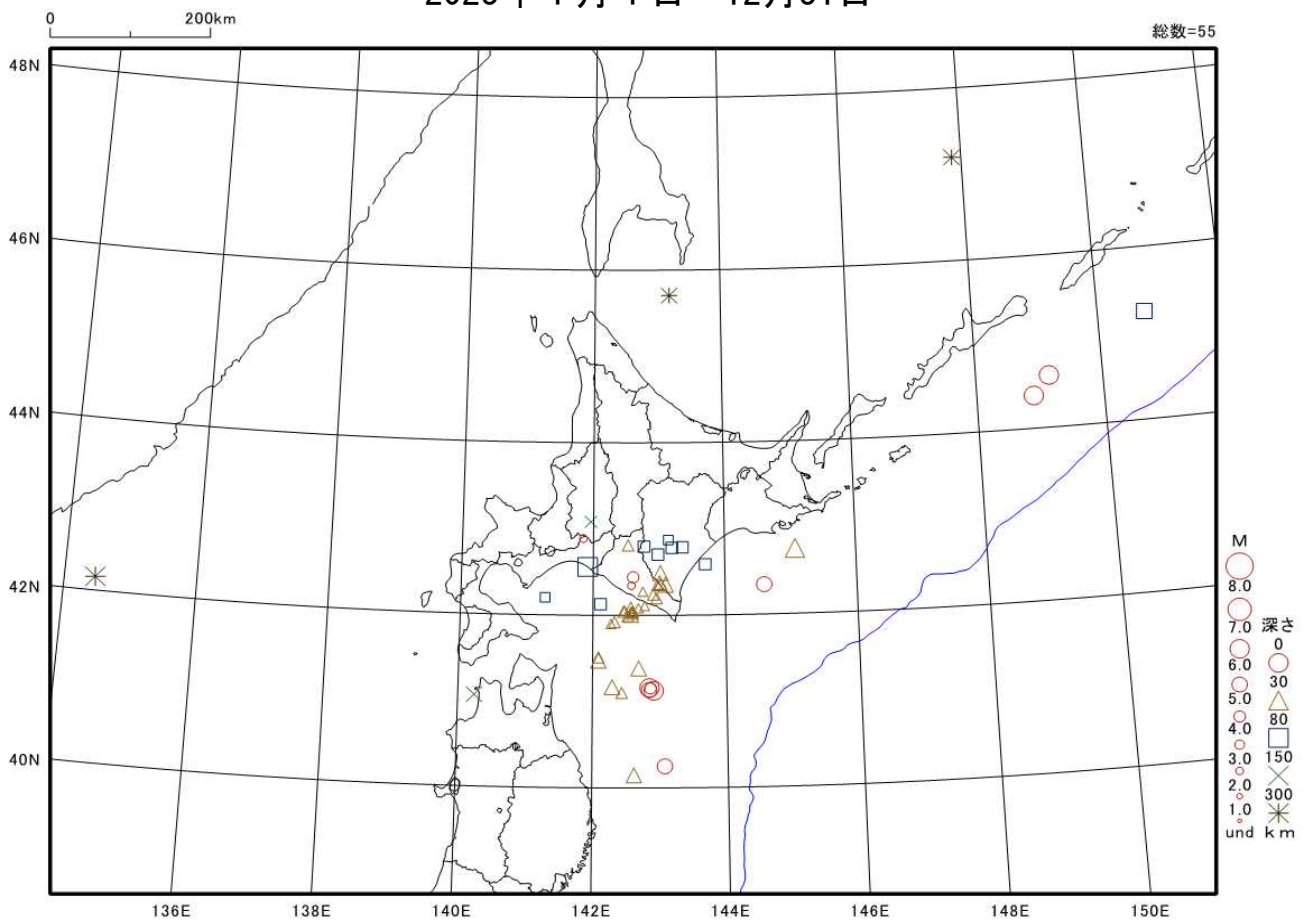


2023年 胆振・日高地方の最大震度別・月別地震回数表

震度 月	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	小計
1	5	1	0	0	0	0	0	0	0	6
2	3	2	0	0	0	0	0	0	0	5
3	3	1	1	1	0	0	0	0	0	6
4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5
5	0	2	1	1	0	0	0	0	0	4
6	3	5	2	0	1	0	0	0	0	11
7	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
8	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3
9	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
10	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
11	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
12	3	1	2	0	0	0	0	0	0	6
合計 (2022年)	25 (34)	18 (11)	9 (9)	2 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	55 (55)

2023年 胆振・日高地方で震度1以上を観測した地震の震央分布図

2023年1月1日～12月31日



本資料の利用にあたって

- ・ 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- ・ 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。